

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）検討会議（第2回）での御意見への主な対応

<第1章>

○ 基本理念について

- ・持続可能という視点と、国の計画にもある「創り手」を用いてはどうか。
- ・「高め」が2つあるので「自ら考え」にしてはどうか。

↓

自ら考え、互いに支え合い、高め合うことのできる
あいちの学びを進め、持続可能な社会の創り手を育みます に修正した。

○ 基本的な方針（2）について

- ・どちらかという(1)が自ら学ぶ力になるので、「多様性と人権を尊重し、様々な選択肢の中で可能性をひきだし、学び合う環境づくりをめざします」等、文言を修正してはどうか？

↓

多様性を尊重し、様々な選択肢の中で一人一人の可能性をひきだし、
自分らしく生きる力を育みます に修正した。

<第2章>

○ 基本施策2 現状と課題 「したたか」について

- ・「しなやかに、したたかに、たくましく」の「したたか」は誤解を招くと言葉ではないか。

↓

削除した。

○ 基本施策4 主な施策 「個々の児童生徒の・・・一元的な把握」について

- ・個人情報の塊を一元管理することは非常に危険であるため削除すべきではないか。

↓

削除し文言を修正した。

○ 基本施策7 現状と課題 グラフについて

- ・欠員数でなく充足率のグラフにするなど修正していただきたい。

↓

グラフを修正した。

○ 基本施策9 施策の方向について

- ・不登校の子供に寄り添った視点を盛り込むべきではないか。

↓

学校・家庭・社会が不登校児童に寄り添い共感的理解と受容の姿勢をもち、
子供たちの自己肯定感を高める取組を推進します。 を追記した。

○ 基本施策9 主な施策①について

- ・不登校児童生徒支援に、発達支持的生徒指導を記述すべきである。

↓

誰一人取り残されない学びの保障や自己肯定感を育む活動を推進するとともに、児童生徒が自発的・主体的に自らを成長・発達させる過程を支える発達支持的生徒指導の充実を図ります。 を追記した。

○ 基本施策9 主な施策①について

- ・不登校生徒への支援やインクルーシブ教育に取り組んでいる専修学校高等課程のことも記述してほしい。

↓

不登校生徒の受入れに取り組んでいる私立高等学校や専修学校高等課程を支援します。 を追記した。

○ 基本施策10 主な施策①について

- ・県立高等学校と特別支援学校との交流の記述を改めてほしい。

↓

県立高等学校と特別支援学校の実習等を通じた交流及び共同学習を推進します。 に修正した。

○ 基本施策14 現状と課題について

- ・核家族化が家庭における教育力の低下とは言い切れないので、グラフで強調する必要があるのだろうか。

↓

グラフを削除した

○ 基本施策15 現状と課題について

- ・体力テストの経年変化より、子供たちが運動に親しむ機会を増やすような視点での表記がよい。

↓

2024 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、本県では、運動やスポーツをすることが「好き」と回答した児童生徒の割合が、小学校、中学校の男女ともに全国平均を下回っており、各学校段階において、子供の体力向上に取り組むとともに、各々の年代や関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実することが求められています。 に修正した。